

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 1 月 31 日 (2013.1.31)

【公開番号】特開 2011-223630 (P2011-223630A)
 【公開日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-044
 【出願番号】特願 2011-145041 (P2011-145041)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/02 C

H 0 4 M 1/00 U

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 12 月 11 日 (2012.12.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）と、

前記携帯端末に備えられた支持部であって、前記撮像部等を、「前記携帯端末の筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される状態で、前記撮像部等が周囲またはユーザーを撮像可能な第 1 位置」と、「前記撮像部等が前記第 1 位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第 2 位置であって、前記第 1 位置から所定の距離だけユーザーから見て上方向に離れた第 2 位置」との間で、移動可能に支持する支持部と、
 を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 2】

携帯端末の少なくとも「操作部及び／又は表示部」を収容又は保持する第 1 筐体と、

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）を収容又は保持する第 2 筐体と、

前記第 1 筐体に備えられた支持部であって、前記第 2 筐体を、「前記第 2 筐体が、前記撮像部等がユーザーを撮像可能であるように、前記第 1 筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される第 1 位置」と、「前記撮像部等が前記第 1 位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能であって、前記第 1 位置から所定の距離だけユーザーから見て上方に在る第 2 位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、
 を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 3】

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）と、

前記携帯端末に備えられた支持部であって、前記撮像部等を、「前記携帯端末の筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される状態で、前記撮像部等が周囲またはユー

ザーを撮像可能な第 1 位置」と、「前記撮像部等が前記第 1 位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第 2 位置であって、前記第 1 位置から所定の距離だけユーザーから見て上方向に離れた第 2 位置」との間で、移動可能に支持する支持部と、

前記撮像部等を前記第 1 位置から前記第 2 位置に移動させる移動部であってモーターなどにより構成される移動部と、
を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 4】

携帯端末の少なくとも「操作部及び／又は表示部」を收容又は保持する第 1 筐体と、

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）を收容又は保持する第 2 筐体と、

前記第 1 筐体に備えられた支持部であって、前記第 2 筐体を、「前記第 2 筐体が、前記撮像部等がユーザーを撮像可能であるように、前記第 1 筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される第 1 位置」と、「前記撮像部等が前記第 1 位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能であって、前記第 1 位置から所定の距離だけユーザーから見て上方に在る第 2 位置」との間で、移動可能に支持する支持部と、

前記撮像部等を前記第 1 位置から前記第 2 位置に移動させる移動部であってモーターなどにより構成される移動部と、
を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 までのいずれかにおいて、

前記支持部は、無線通信用のアンテナ部を含むもの、又は、無線通信用のアンテナの支持軸を兼ねるものである、ことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 6】

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）と、

前記携帯端末に備えられた支持部であって、前記撮像部等を、「前記携帯端末の筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される状態で、前記撮像部等が周囲またはユーザーを撮像可能な第 1 位置」と、「前記撮像部等が前記第 1 位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第 2 位置であって、前記第 1 位置から所定の距離だけユーザーから見て上方向に離れた第 2 位置」との間で、移動可能に支持する支持部と、
を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 7】

携帯端末の少なくとも「操作部及び／又は表示部」を收容又は保持する第 1 筐体と、

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）を收容又は保持する第 2 筐体と、

前記第 1 筐体に備えられた支持部であって、前記第 2 筐体を、「前記第 2 筐体が、前記撮像部等がユーザーを撮像可能であるように、前記第 1 筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される第 1 位置」と、「前記撮像部等が前記第 1 位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能であって、前記第 1 位置から所定の距離だけユーザーから見て上方に在る第 2 位置」との間で、移動可能に支持する支持部と、
を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 8】

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）と、

前記携帯端末に備えられた支持部であって、前記撮像部等を、「前記携帯端末の筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される状態で、前記撮像部等が周囲またはユーザーを撮像可能な第１位置」と、「前記撮像部等が前記第１位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第２位置であって、前記第１位置から所定の距離だけユーザーから見て上方向に離れた第２位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

前記撮像部等を前記第１位置から前記第２位置に移動させる移動部であってモーターなどにより構成される移動部と、
を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項９】

携帯端末の少なくとも「操作部及び／又は表示部」を収容又は保持する第１筐体と、

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）を収容又は保持する第２筐体と、

前記第１筐体に備えられた支持部であって、前記第２筐体を、「前記第２筐体が、前記撮像部等がユーザーを撮像可能であるように、前記第１筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される第１位置」と、「前記撮像部等が前記第１位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能であって、前記第１位置から所定の距離だけユーザーから見て上方に在る第２位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

前記撮像部等を前記第１位置から前記第２位置に移動させる移動部であってモーターなどにより構成される移動部と、
を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項１０】

請求項６から９までのいずれかにおいて、

前記支持部は、無線通信用のアンテナ部を含むもの、又は、無線通信用のアンテナの支持軸を兼ねるものである、ことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項１１】

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）と、

前記携帯端末に備えられた支持部であって、前記撮像部等を、「前記携帯端末の筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される状態で、前記撮像部等が周囲またはユーザーを撮像可能な第１位置」と、「前記撮像部等が前記第１位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第２位置であって、前記第１位置から所定の距離だけユーザーから見て上方向に離れた第２位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項１２】

携帯端末の少なくとも「操作部及び／又は表示部」を収容又は保持する第１筐体と、

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）を収容又は保持する第２筐体と、

前記第１筐体に備えられた支持部であって、前記第２筐体を、「前記第２筐体が、前記撮像部等がユーザーを撮像可能であるように、前記第１筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される第１位置」と、「前記撮像部等が前記第１位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能であって、前記第１位置から所定の距離だけユーザーから見て上方に在る第２位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項１３】

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）と、

前記携帯端末に備えられた支持部であって、前記撮像部等を、「前記携帯端末の筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される状態で、前記撮像部等が周囲またはユーザーを撮像可能な第１位置」と、「前記撮像部等が前記第１位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第２位置」であって、前記第１位置から所定の距離だけユーザーから見て上方向に離れた第２位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

前記撮像部等を前記第１位置から前記第２位置に移動させる移動部であってモーターなどにより構成される移動部と、

を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項１４】

携帯端末の少なくとも「操作部及び／又は表示部」を収容又は保持する第１筐体と、

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）を収容又は保持する第２筐体と、

前記第１筐体に備えられた支持部であって、前記第２筐体を、「前記第２筐体が、前記撮像部等がユーザーを撮像可能であるように、前記第１筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される第１位置」と、「前記撮像部等が前記第１位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能であって、前記第１位置から所定の距離だけユーザーから見て上方に在る第２位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

前記撮像部等を前記第１位置から前記第２位置に移動させる移動部であってモーターなどにより構成される移動部と、

を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項１５】

請求項１１から１４までのいずれかにおいて、

前記支持部は、無線通信用のアンテナ部を含むもの、又は、無線通信用のアンテナの支持軸を兼ねるものである、ことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項１６】

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）と、

前記携帯端末に備えられた支持部であって、前記撮像部等を、「前記携帯端末の筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される状態で、前記撮像部等が周囲またはユーザーを撮像可能な第１位置」と、「前記撮像部等が前記第１位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第２位置」であって、前記第１位置から所定の距離だけユーザーから見て上方向に離れた第２位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項１７】

携帯端末の少なくとも「操作部及び／又は表示部」を収容又は保持する第１筐体と、

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）を収容又は保持する第２筐体と、

前記第１筐体に備えられた支持部であって、前記第２筐体を、「前記第２筐体が、前記撮像部等がユーザーを撮像可能であるように、前記第１筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される第１位置」と、「前記撮像部等が前記第１位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能であって、前記第１位置から所定の距離だけユーザーから見て上方に在る第２位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 18】

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）と、

前記携帯端末に備えられた支持部であって、前記撮像部等を、「前記携帯端末の筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される状態で、前記撮像部等が周囲またはユーザーを撮像可能な第1位置」と、「前記撮像部等が前記第1位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置であって、前記第1位置から所定の距離だけユーザーから見て上方向に離れた第2位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

前記撮像部等を前記第1位置から前記第2位置に移動させる移動部であってモーターなどにより構成される移動部と、

を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 19】

携帯端末の少なくとも「操作部及び／又は表示部」を収容又は保持する第1筐体と、

「静止画や動画などの映像を取得する撮像部、又は、撮像部の一部である撮像用レンズなどから成る撮像用の光学系部」（以下「撮像部等」という）を収容又は保持する第2筐体と、

前記第1筐体に備えられた支持部であって、前記第2筐体を、「前記第2筐体が、前記撮像部等がユーザーを撮像可能であるように、前記第1筐体の上端部の上方の近傍又は下方の近傍に配置される第1位置」と、「前記撮像部等が前記第1位置に配置されたときと比較して前記撮像部等がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能であって、前記第1位置から所定の距離だけユーザーから見て上方に在る第2位置」との間に、移動可能に支持する支持部と、

前記撮像部等を前記第1位置から前記第2位置に移動させる移動部であってモーターなどにより構成される移動部と、

を備えたことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項 20】

請求項 16 から 19 までのいずれかにおいて、

前記支持部は、無線通信用のアンテナ部を含むもの、又は、無線通信用のアンテナの支持軸を兼ねるものである、ことを特徴とする、テレビ通話機能付き携帯端末。